



ライブリー通信

2025年度冬号 vol.80
ライブリーデイサービスセンター
立川市栄町3-15-29
042-540-2927



「風の時代」



吉崎グレイス

2020年12月から、西洋占星術において、物質的な価値観（地の時代）から精神的・知的な価値観（風の時代）へと時代はシフトし、ここから200年続くとされているそうだ。個人的には占いを信じていないものの、世の中の価値観が変わってきたのは、体感しているので関心を持っている。

それぞれの時代の特徴について、ごく一部だが紹介。興味を持たれた方は、是非調べていただければと思う。

	地の時代（～2020年11月）
価値観	安定・秩序・伝統・権威
考え方	固定観念・保守的な考え方

⇒	風の時代（2020年12月～）
	自由・自律・多様性・個性
	自由な発想・柔軟性

人手不足が声高に叫ばれる昨今、介護業界も例外ではない。スタッフの入れ替わりが激しく、利用者さんやご家族には、不安を与えてしまい申し訳なく思っている。ただ、一方で思うこともある。

ライブリーという基盤の上で、誰が関わろうとそれぞれの個性が發揮されることを目指し続けたいということ。ライブリーは、人が「いきる」場所、そしてお互いに「いかし合う」場所。関わる人達に「いかされて」存在し続けることが出来ている。2026年1月、ライブリーは24年目に入った。

「いきる、いかす、いかされる」基軸は保ちつつ、柔軟に軽やかに、風に乗っていきたいと思う。

ライブリー 迷珍場面 vol. 63

イチョウ並木を車で通っている時

幸子さん「あそこ歩きたいわ～、皆でこよう。」
和江さん「私は車で歩きたい。」

そんな手段があったとは！？



村石

シートベルトを着けてあげる時のやり取り

私 「はい。縛りまぁす♪」

和子さん 「困りまぁす♪」

和子さんと私との大分変った楽しみ方(笑)



(誰にも聞かれていませんようにと願う) 吉崎



送迎車内にて

看板を読みあげていたサトルさん「ハナケヤ！」
ん？？ 鼻毛屋？？
外を見ると、おなじみのスーパー
いなげやさんでした。

それから、いなげやさんの看板を見るたび、
笑ってしまいます♪

所賀

利用者の名前は仮名です。



杏林医大生が実習に来られました♪



利用者さんを通してのご縁があり、2日に渡り、杏林医大生が計3名実習に来られました。利用者さんを交えて「良いお医者さんって？」そもそも「よいってなんだろうね…」など、ミニディスカッションをする時間も作ってみました。彼らの感想・コメントに続き、ご家族でもあり、実習生を教えておられる三枝七都子さんのメッセージです。

(写真・お名前掲載の許可をいただいています。)



豊泉さん

認知症に対する印象も大きく変わりました。実習前は会話が成り立たなかったり、怒りっぽかったりする方が多いのではと思っていたが、実際には穏やかにお話ができ、笑顔も見ることが出来ました。症状の多様さや、認知症の方それぞれの温かさに触れることが出来たのは唯一無二の経験でした。貴施設での学びを糧に、患者さんから真に必要とされる医師を目指して精進してまいります。



崎田さん

私たちは、言葉を重視し過ぎているということ、だからこそ、「体の対話」が大切だと教えていただきました。言葉だけではないものも、相手に伝わっているというのを体感できました。

利用者の皆様とのお話やレクレーションなど貴重な体験をさせていただき、大変学びの多い一日になりました。「よい医師とは？」を皆さんとお話ししたことは特に印象に残っています。これから医師になるうえで、何が求められるのかを深く考える時間になりました。

母がライブリーデイサービスでお世話になり、まもなく一年になります。主な介護者であった父の入院をきっかけに相談に伺った際、真摯に耳を傾けてくださいり、その時に感じた心強さは今も変わりません。

とりわけ10月には、私が勤務する杏林大学医学部の低学年学生の体験学習も受け入れていただきました。医学教育において、生活に寄り添うケアの現場に学生が身を置ける機会は多くありません。20年以上にわたり、認知症をもつ本人と家族の生活に伴走してこられたライブリーでの一日は、学生にとって大きな学びとなりました。学生の感想には「認知症の印象が大きく変わった」との声もあり、私自身とても嬉しく思っております。

昨年に認知症基本法が施行され、医療と福祉のつながりがいっそう問われるいま、母が繋いでくれたライブリーとのご縁を、家族としても、教育者としても、そしてケアを研究する立場からも、大切にしていきたいと感じています。今後とも変わらぬお付き合いを賜れましたら幸いです。

三枝七都子さん

編集後記

今回来た医大生たちは、ライブリーを立ち上げた頃、まだ生まれていなかったという現実。立ち上げたのが、ついこの間のように感じている私の頭の中は、混乱気味です(笑) 吉崎

